

春の伊勢街道「おかげ祭り」 3年ぶりに復活



榛原駅前のメイン会場には、ステージイベントや産直市場などでぎわった



平和を願い、世界各国の国旗をあしらった手作りの折り鶴

江戸時代に宿場町の象徴とされる
旧旅籠「あぶらや」

古くから大和と伊勢 経て伊勢へ向かう「あ
を結ぶ交通の要所だっ を越え(初瀬街道)」してほしい。伊勢参り
た榛原は、お伊勢参り と、内牧や御杖を経て
が盛んになった江戸期 の『おかげ祭り』のにぎ
には伊勢街道の宿場町 がわいのよう、にぎ
として栄えた。名張を 街道の分岐点だった。
街道」の分岐点だった。
二つの街道が分岐す
往時の面影を留めた町
並みが残る。札の辻前
に建つ旧旅籠「あぶら
や」は、江戸時代の国
学者・本居宣長が宿泊
したことでも知られて
いる。

オープニングで、松
塚幾善・宇陀商工会長
は「3年ぶりに開催で
きたことに感謝し、日
い」と話した。

古くから大和と伊勢 経て伊勢へ向かう「あ
を結ぶ交通の要所だっ を越え(初瀬街道)」してほしい。伊勢参り
た榛原は、お伊勢参り と、内牧や御杖を経て
が盛んになった江戸期 の『おかげ祭り』のにぎ
には伊勢街道の宿場町 がわいのよう、にぎ
として栄えた。名張を 街道の分岐点だった。
街道」の分岐点だった。
二つの街道が分岐す
往時の面影を留めた町
並みが残る。札の辻前
に建つ旧旅籠「あぶら
や」は、江戸時代の国
学者・本居宣長が宿泊
したことでも知られて
いる。

オープニングで、松
塚幾善・宇陀商工会長
は「3年ぶりに開催で
きたことに感謝し、日
い」と話した。

宇陀マルシェ&産直市場同時開催

平成18(2006)年、榛原町を含む旧宇陀郡の4町村が合併して宇陀市が誕生したが、合併前から毎年、江戸時代に宿場町として栄えた榛原の地で開催されてきた春の伊勢街道「おかげ祭り」(同実行委員会主催)が10日、コロナの影響を乗り越えて3年ぶりに復活した。「あいさこいさ祭り」の愛称で親しまれきた祭りはこの日、近畿日本鉄道大阪線「榛原」駅近くのメイン会場を中心に、ステージイベントや宇陀マルシェ&産直市場、手作り絵本の読み聞かせ会など終日にぎわいを取り戻した。

主催者を代表してあいさつする
松塚幾善・宇陀商工会長

ステージ狭しと軽やかなキッズダンスも

織田信長ゆかりの宗祐寺では、
グループによる「癒やしの音楽
祭」が開かれた奏。保護者が見守る中で少々緊張気味
しらめり保育園児27人による小太鼓演宇陀商工会館では、榛生昇陽・宇陀高校
生による「手作り絵本の読み聞かせ会」
やパネル展示での活動紹介もあった

感動のそばに、いつも。